

7 月生活朝会講話

「話合い」で「気づき」「考え」「行動する」人になってほしい。

上木崎小学校 校長 山田和宏

7月に入りました

- 1学期の授業日は今日を入れて14日となりました。
- 今日から、朝の過ごし方が変わった人もいます。
- 一人ひとりがよく考え、皆さんで協力し、安全に過ごせるようにしてください。

世界のニュースに目を向けると

- 世界各地で戦争が起きていることが分かります。
- 戦争は一度始まると、すぐには終わりません。
- 多くの人々の命が失われ、もしかすると明日は生きていられないかもしれない、そんな恐怖と不安の中で毎日を過ごすことになります。
- 今も、世界では皆さんと同じ年頃の子ども達が、恐ろしく、不安の中で、毎日を一生懸命に生きています。

私たちのくらす日本も

- かつて世界の国々と戦争をしていた時期がありました。
- そのうち約80年前の太平洋戦争の最後には、原子爆弾が投下され、その結果、何十万という命が失われ、その影響は今も残っています。

私はこう考えています

- 戦争は起こさない、始めないことが大事だと思っています。
- そのためには、私たち一人ひとりが、問題をよりよく解決する力を身に付けることが必要です。
- 例えば、悪口を言う、相手をたたく、ける、つねるといった暴言、暴力。仲間外れ、無視、かげ口、ひそひそ話といったいじめ。さらに、トラブルをたのしみ、はやしたてる煽り。こうした方法で、人と人との間に生まれる問題を解決することはできません。逆に問題を大きく、複雑にしていきます。

では、どうすれば身の回りにある問題を、よりよく解決することができるのでしょうか。

- 私は、その方法の一つが「話し合うこと」だと思っています。
- 皆さん一人ひとりが自分の考えを表し、他の人の考えをよく聞くことで、私たちの世界には自分とは違う考え、宗教、文化をもつ人がいることに気づくことができます。そして、何か問題があれば、解決に向けてよく考え、正しく行動できるようにすることが大事だと考えていますが、皆さんはどう考えますか。

もうすぐ夏休みですね

- 健康、安全な生活を心がけ、一生懸命に学習して、元気に、この夏をたのしみましょう。